

平成24年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

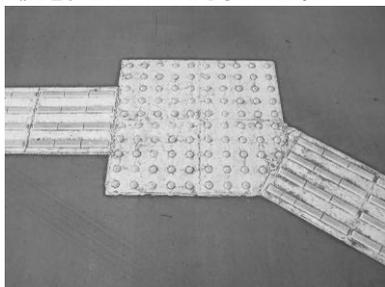
1 学校名	江北町立江北小学校		
2 所在地	杵島郡江北町大字山口 1128 番地		
3 校長名	藤井 裕明		
4 学級数 児童生徒数	15学級 494人	5 実施学年 児童生徒数	4年 68人

6 取組のねらい

- 身の回りにある点字をさがしポスターセッション形式で発表する活動を通して、町の中には目の不自由な人のために様々な工夫がされていることに気付くと共に、だれもが安心して生活できることを考えた施設の設備を知る。

7 取組の実際

- (1) 国語科の教科書教材「手と心で読む」を読み、身近なところに点字が使われていることを知る。
- (2) 町の中や家の中にある点字や、目の不自由な人のためにある道具や設備などを探し、その役割について調べる。

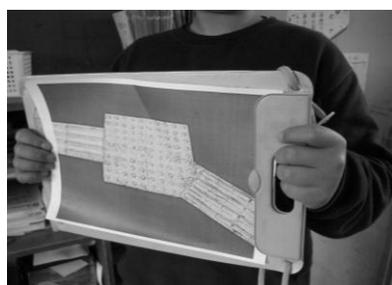


点字ブロック



自動販売機の点字

- (3) 調べたことをポスターセッション形式で発表する。



- (4) 障がいのある人だけでなく、だれもが使いやすくなるように工夫されている、身近な施設の設備について話し合う。

8 取組の成果と課題

(成果)

- 点字ブロックや信号の音声案内があることは知っていたが、その役割については学習をとおして初めて知ることができた。
- 家電製品にも多くの点字が使われていることを知り、目の不自由な人たちが安心して暮らすことができるように様々な工夫があることに気付くことができた。
- 施設には手すりやスロープを始め、広々としたトイレなど、高齢者や妊婦の方にもやさしい配慮がなされていることにも気付くことができた。

(課題)

- ポスターセッション形式で発表を行ったことで、自分が調べたこと以外のことについても知ることができた。さらに、福祉に興味・関心をもたせるために、点字ブロック体験などを行う時間が必要であった。

平成24年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	江北町立江北小学校		
2 所在地	杵島郡江北町大字山口 1128 番地		
3 校長名	藤井 裕明		
4 学級数 児童生徒数	15学級 494人	5 実施学年 児童生徒数	6年 77人

6 取組のねらい

- 体の不自由な人の生活等を調べることを通して、「福祉」についての理解



を深めるとともに、人権を大切にすることを育てる。

7 取組の実際

- (1) 体の不自由な人の生活について、個人でテーマを決め、インターネットや本などを使って調べる。
 - ・目が不自由な人への福祉
 - ・耳が不自由な人への福祉
 - ・体が不自由な人への福祉
 - ・老人（高齢者）への福祉
 - ・子ども（児童）への福祉
- (2) 学校の近くにある子どもセンター「うるる」に、地域の児童福祉について話を聞き、施設の見学・体験を行った。
- (3) 個人のテーマに基づいて、学習のまとめをする。

8 取組の成果と課題

（成果）

- 福祉について知ることを通して、人々が互いの個性を尊重し合い、共に助け合いながら生活をしていることを知り、自分たちにできることを考えることができた。
- 地域の施設を見学したことで、身近にも福祉施設があり、障がいのある人だけでなく全ての人が生活しやすくする工夫があることがわかった。

（課題）

- 他の施設を見学したり、疑似体験をしたりする活動を多く取り入れるなどして、体験的に学ぶような工夫が必要である。